2026年10月26日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,333万kW
10時30分、103,334 MW（10エリア同時刻合計）

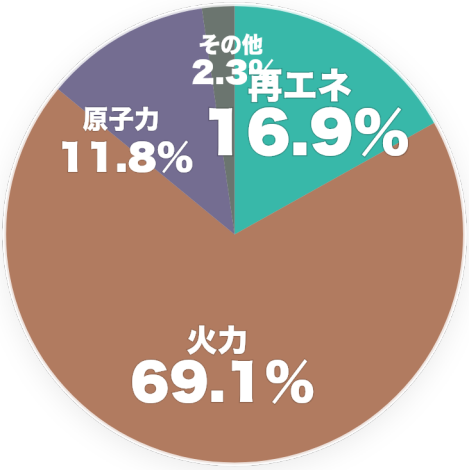
☀ 太陽光ピーク
842万kW
12時、8,424 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
199万kW
1時、1,986 MW

◇ 再エネ最大需要比
21.0%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
89.9 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
65.6 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 39.2%

32.3 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

21.8 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、16:30に3,264万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで39.2%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**16.9%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**359 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,128 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**21.0%**	12時
出力抑制量	**0.0 GWh**	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	**21.8 GWh**	発電構成比には含めない

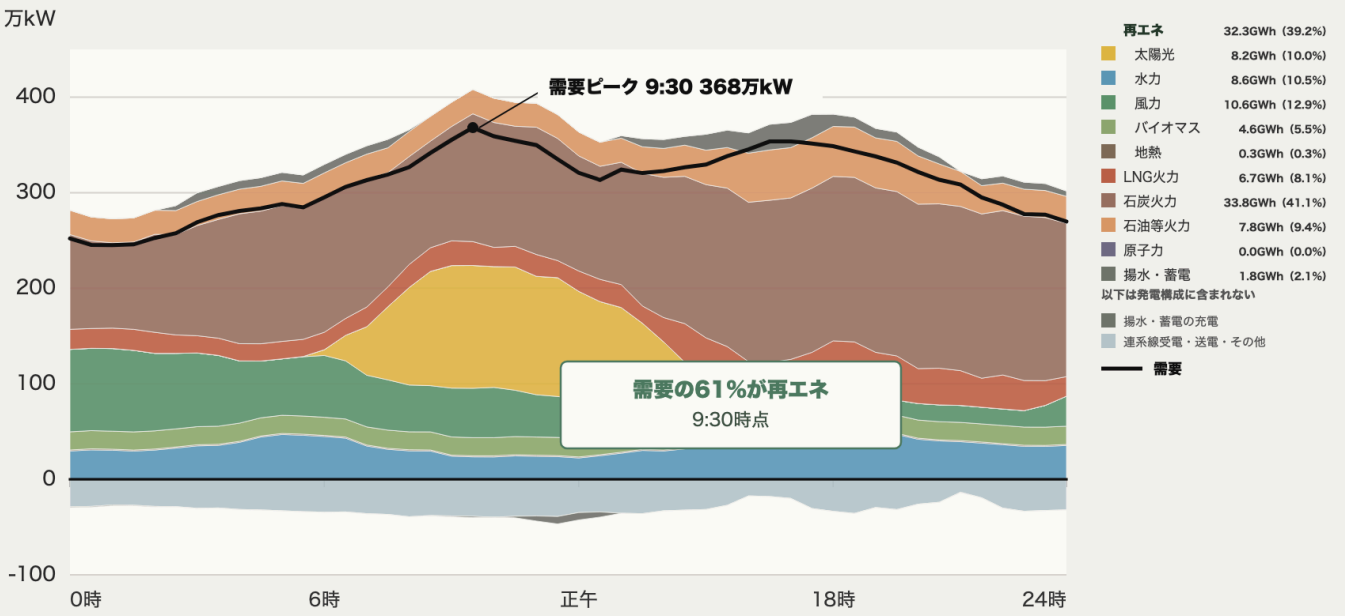
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**39.2%**	**32.3**	**0.0**	**送電 7.5**
東北	**23.6%**	**62.9**	**0.0**	**送電 65.6**
東京	**9.2%**	**53.8**	**0.0**	**受電 89.9**
中部	**19.7%**	**54.3**	**0.0**	**受電 53.0**
北陸	**34.0%**	**28.1**	**0.0**	**送電 16.8**
関西	**12.2%**	**38.4**	**0.0**	**受電 43.9**
中国	**13.2%**	**19.8**	**0.0**	**送電 9.3**
四国	**19.8%**	**19.2**	**0.0**	**送電 33.9**
九州	**19.1%**	**47.8**	**0.0**	**送電 33.7**
沖縄	**11.0%**	**2.8**	**0.0**	—

2026年10月26日の供給実績

北海道エリア

再エネ
32.3GWh
（発電電力量ベース39.2%）

北海道エリア 2026年10月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
82.3GWh

需要ピーク
9:30、368万kW

連系線・その他
7.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

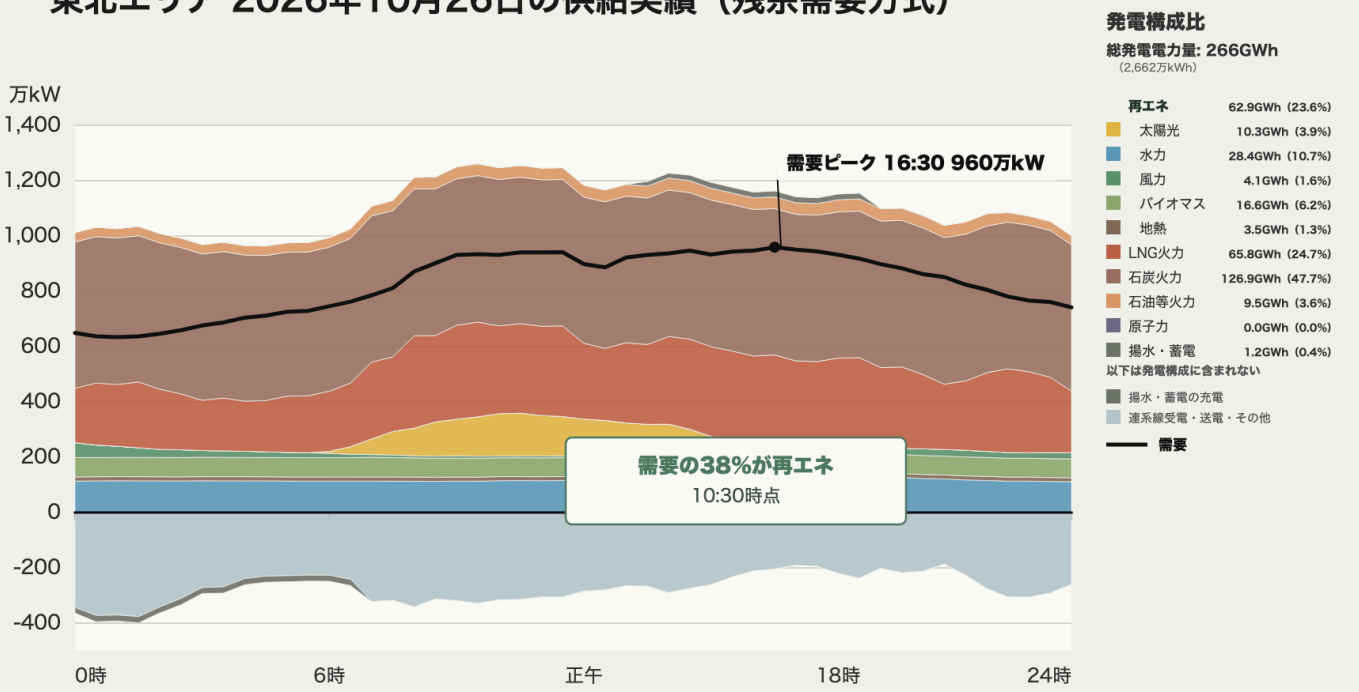
北海道は、太陽光ピーク129万kW、風力ピーク86万kWで、時間別の再エネ最大需要比は63.7%だった。

2026年10月26日の供給実績

東北エリア

再エネ
62.9GWh
（発電電力量ベース23.6%）

東北エリア 2026年10月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
266.2GWh

需要ピーク
16:30、960万kW

連系線・その他
65.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

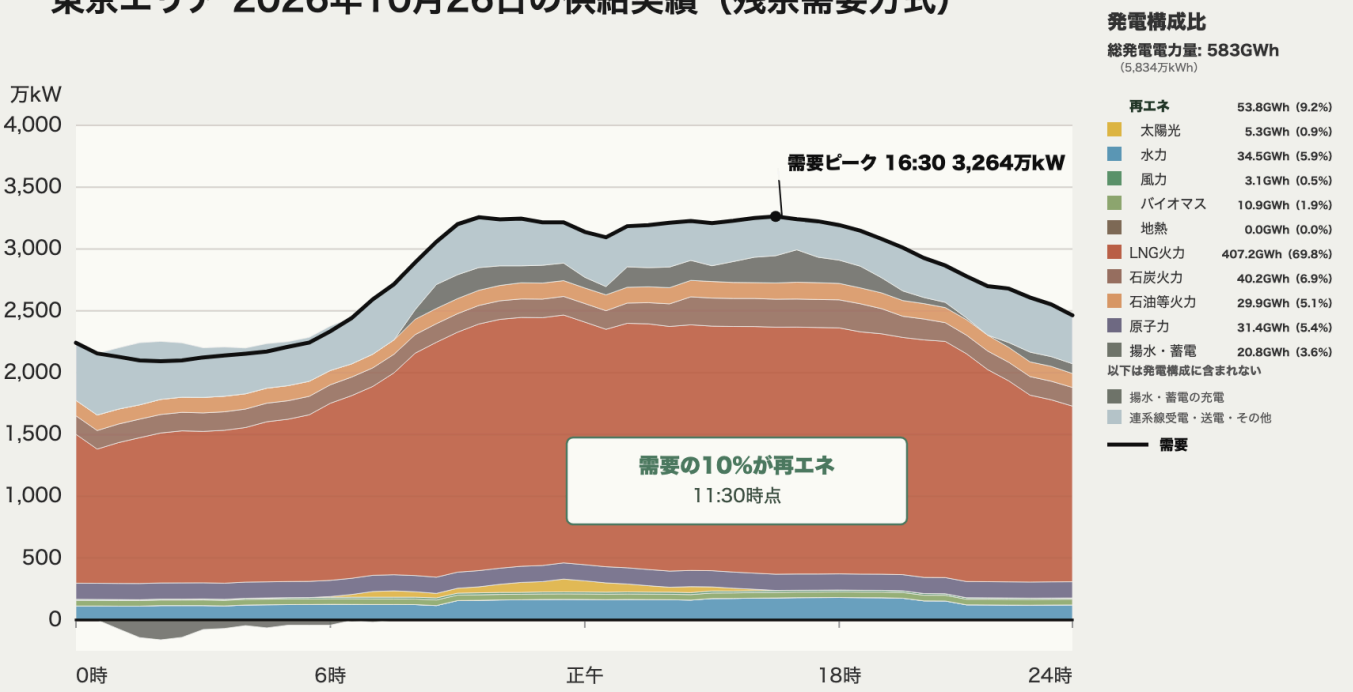
東北は、太陽光ピーク155万kW、風力ピーク54万kWで、時間別の再エネ最大需要比は38.9%だった。

2026年10月26日の供給実績

東京エリア

再エネ
53.8GWh
（発電電力量ベース9.2%）

東京エリア 2026年10月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
583.4GWh

需要ピーク
16:30、3,264万kW

連系線・その他
89.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

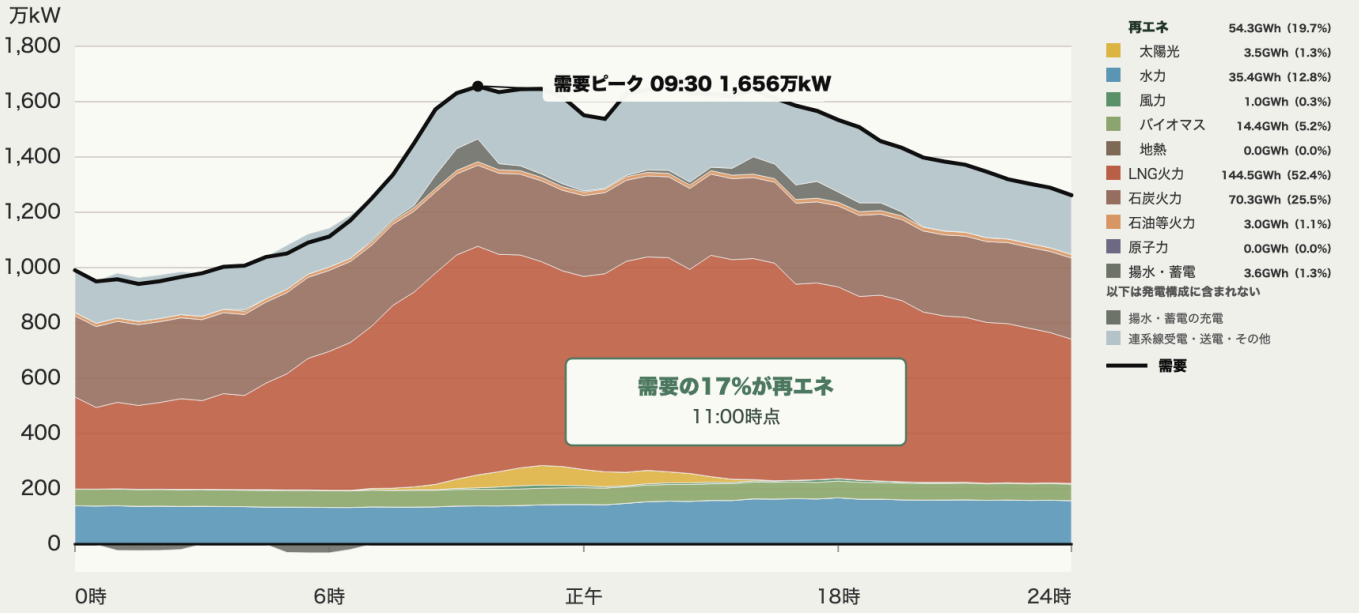
東京は、太陽光ピーク104万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は10.3%だった。

2026年10月26日の供給実績

中部エリア

再エネ
54.3GWh
（発電電力量ベース19.7%）

中部エリア 2026年10月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
275.8GWh

需要ピーク
09:30、1,656万kW

連系線・その他
53.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
1.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

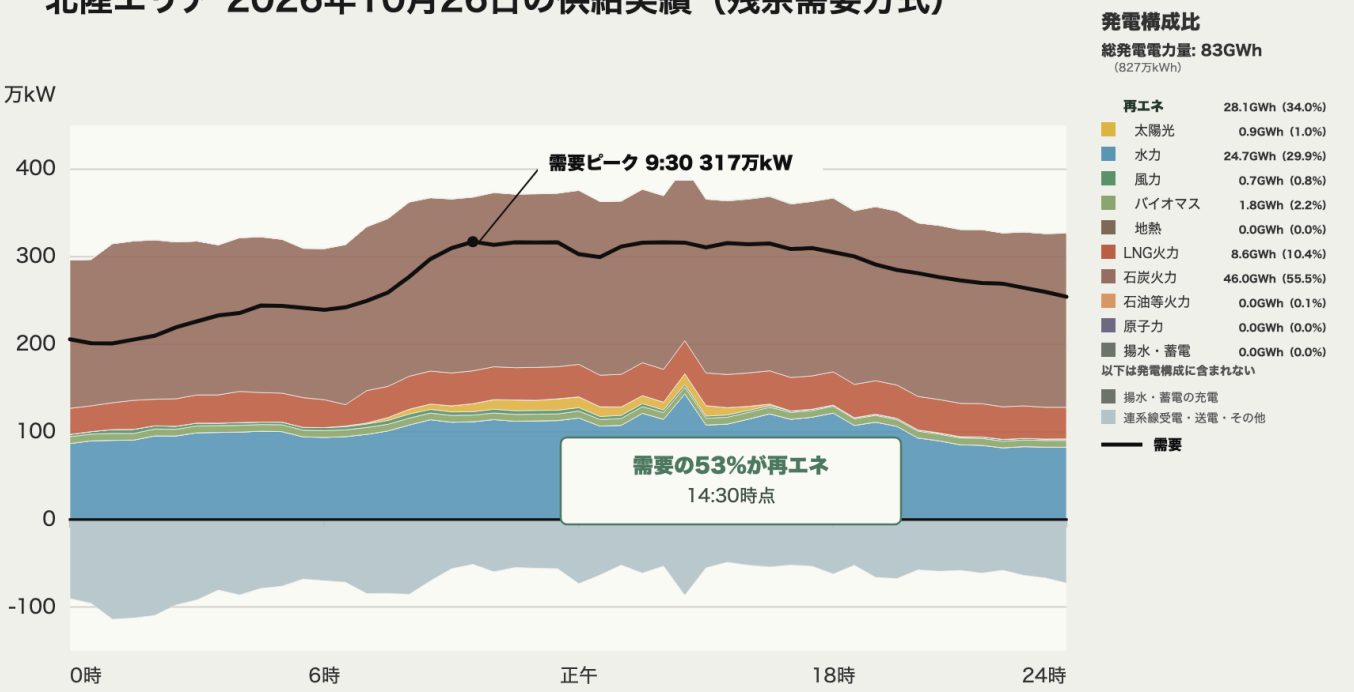
中部は、太陽光ピーク71万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は21.1%だった。

2026年10月26日の供給実績

北陸エリア

再エネ
28.1GWh
（発電電力量ベース34.0%）

北陸エリア 2026年10月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
82.7GWh

需要ピーク
9:30、317万kW

連系線・その他
16.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

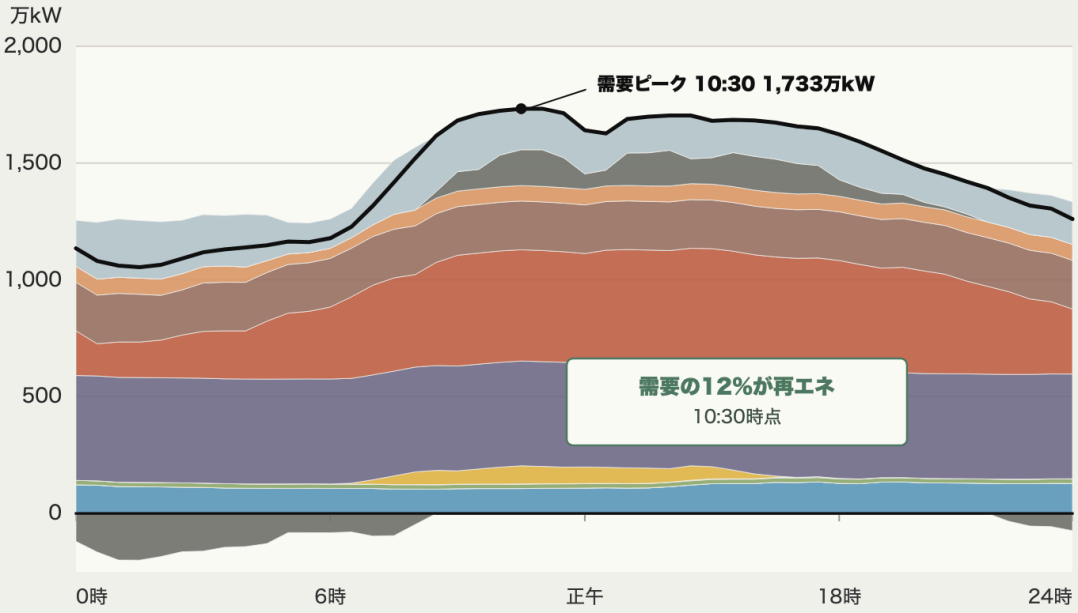
北陸は、太陽光ピーク13万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.6%だった。

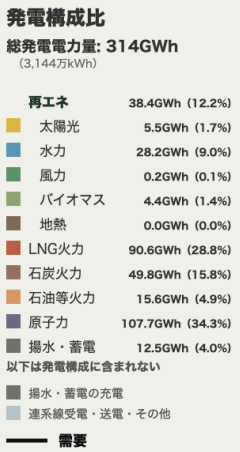
2026年10月26日の供給実績

関西エリア

再エネ
38.4GWh
（発電電力量ベース12.2%）

関西エリア 2026年10月26日の供給実績（残余需要方式）





出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
314.4GWh

需要ピーク
10:30、1,733万kW

連系線・その他
43.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
12.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

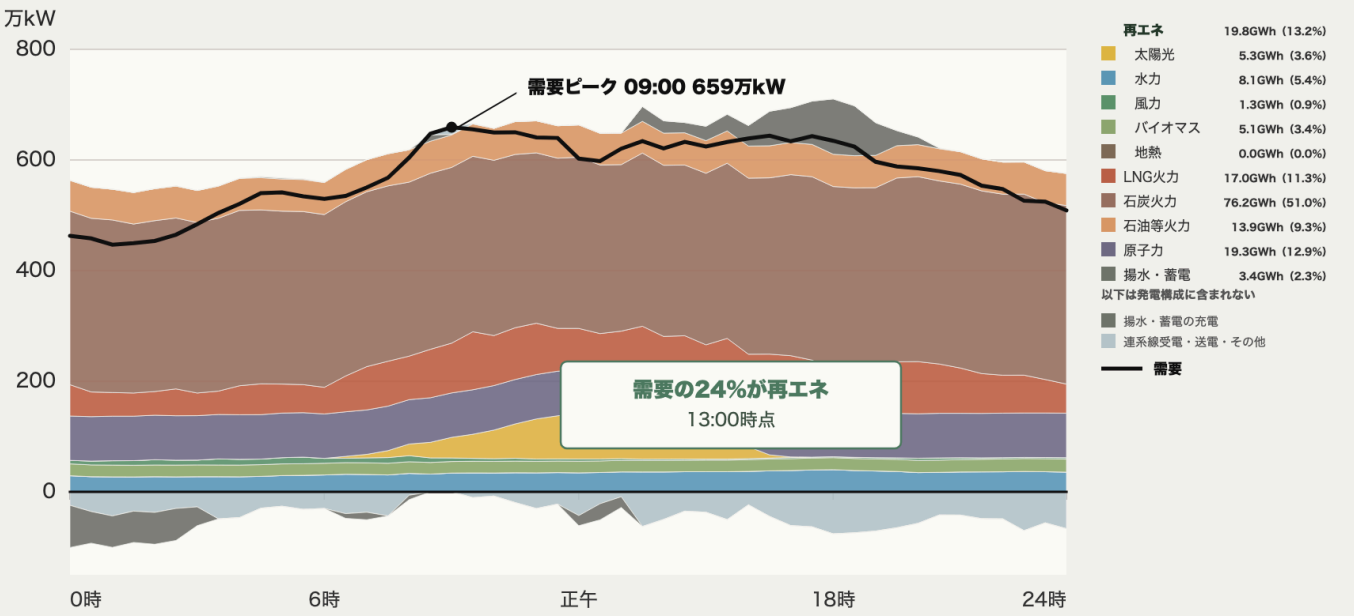
関西は、太陽光ピーク78万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は12.9%だった。

2026年10月26日の供給実績

中国エリア

再エネ
19.8GWh
（発電電力量ベース13.2%）

中国エリア 2026年10月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
149.5GWh

需要ピーク
09:00、659万kW

連系線・その他
9.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

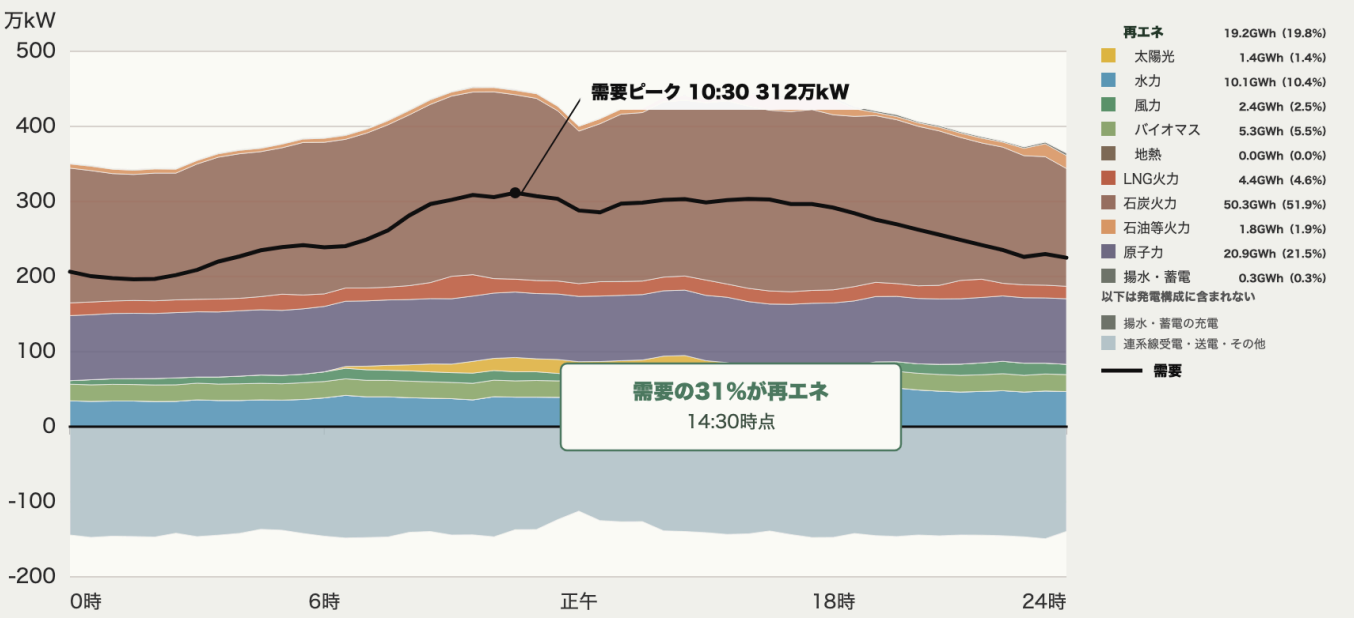
中国は、太陽光ピーク90万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.2%だった。

2026年10月26日の供給実績

四国エリア

再エネ
19.2GWh
（発電電力量ベース19.8%）

四国エリア 2026年10月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
96.9GWh

需要ピーク
10:30、312万kW

連系線・その他
33.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

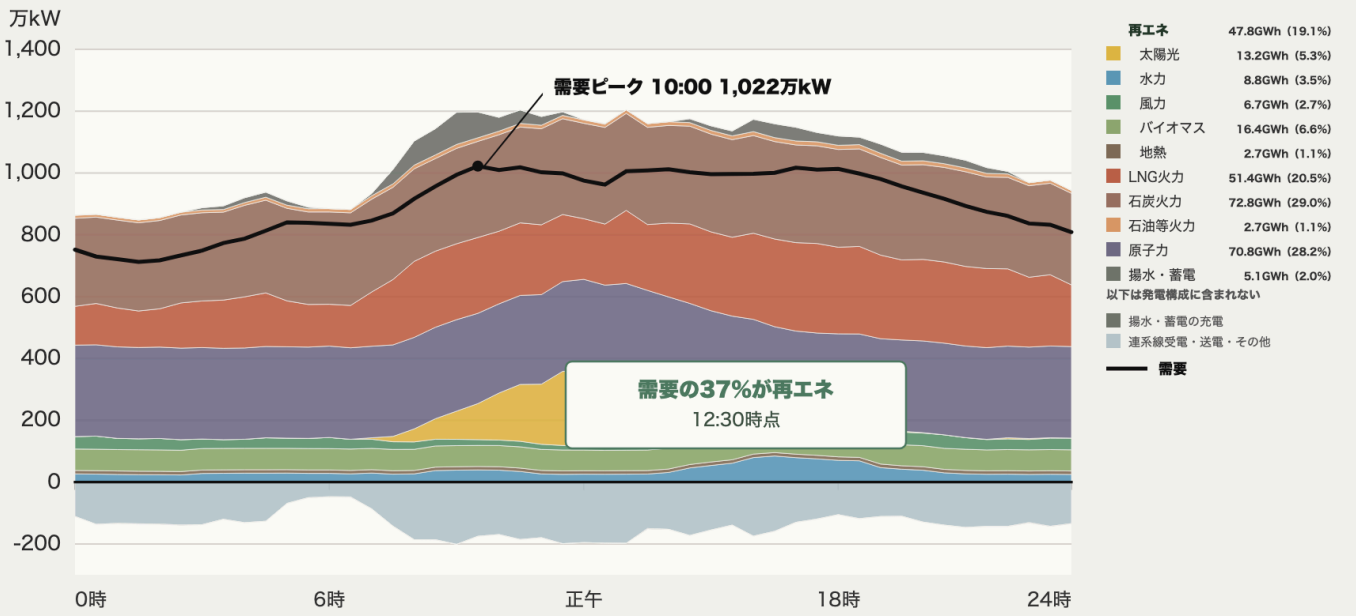
四国は、太陽光ピーク20万kW、風力ピーク17万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.4%だった。

2026年10月26日の供給実績

九州エリア

再エネ
47.8GWh
（発電電力量ベース19.1%）

九州エリア 2026年10月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
250.7GWh

需要ピーク
10:00、1,022万kW

連系線・その他
33.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

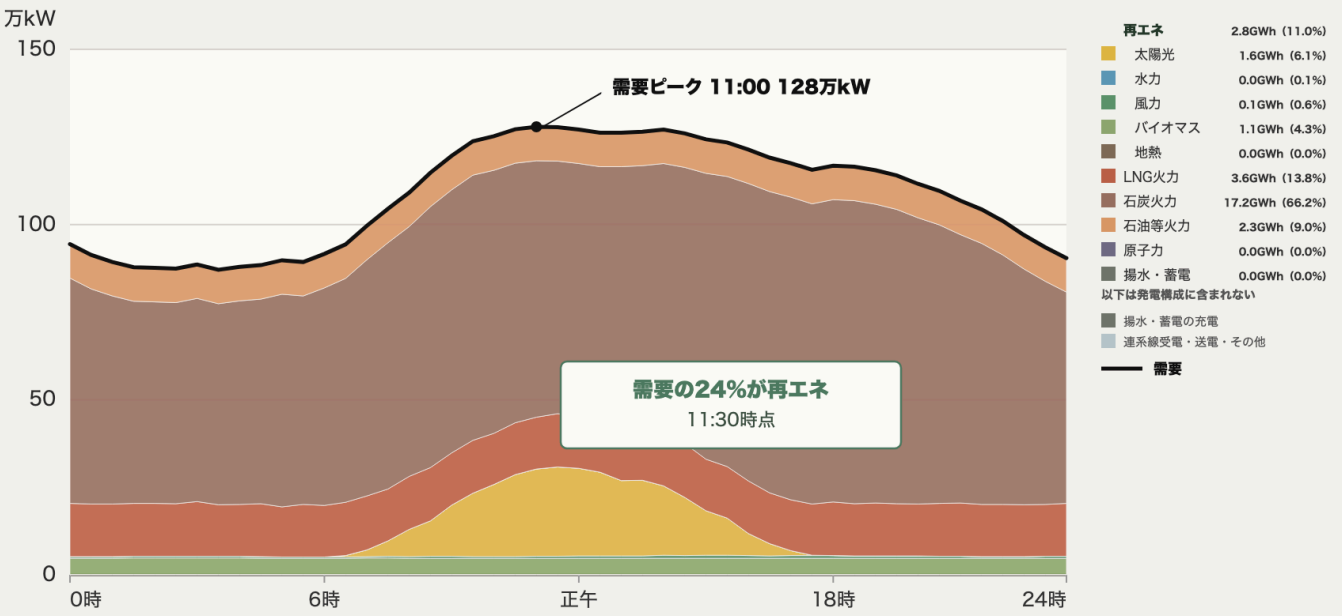
九州は、太陽光ピーク246万kW、風力ピーク44万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.3%だった。

2026年10月26日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.9GWh
（発電電力量ベース11.0%）

沖縄エリア 2026年10月26日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
26.0GWh

需要ピーク
11:00、128万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク26万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.1%だった。